

草川鉄工株式会社

高品質の鍛造品を 多種多様な分野に供給

- 納期相談
- 企画力・自信有
- コスト相談
- オンリーワン技術
- メイドインジャパン
- 試作可
小ロット
- 量産対応



複合鍛造

一貫生産体制で作られる各種鍛造品

業務内容

鍛造からの検査までの一貫生産体制を構築

納入先は自動車、建設機械、農業機械、船用、発電プラントメーカーなど広範に及ぶ。得意分野は、金型を用いずに成形する「自由鍛造」と、金型を用いて成形する「型打鍛造」。より職人技が求められる自由鍛造では重さ数十kgから数tまでの原子力発電プラント部品や船用部品などを生産する。型打鍛造ではエアースタンプハンマーによる一般的な形状の鍛造品に限らず、フリクションプレスによる長軸形状の据え込み（アップセット）鍛造品も手がける。ロット数1個の製品から数万個の量産品に対応可能で熱処理、機械加工、破壊・非破壊検査までの一貫体制を構築している。

強み

新工法の開発力と徹底した品質管理が持ち味

「熱間鍛造」と「機械加工」の間に冷間鍛造の工程を加えることで機械による加工を大幅に削減するなど、加工コスト低減につながる新工法の開発力も持ち味の一つ。また品質管理面の取り組みは充実しており、ISOだけでなく、日本海事協会など複数の機関から公的認証を取得している。中でも原子力プラント向け製品の製造認証も取得済みでレベルは高い。そのほか各種材料試験はもちろんのこと、日本非破壊検査協会の有資格者を配置して、各種成績書の発行までを行うなど徹底的な品質管理体制を敷く。現在、ISOマネジメントに基づき、プロセスごとに目標を設定してマネジメントシステムの向上に尽力している。

技術伝承

多能工化で総合力の向上を狙う

鍛造工場にはエアースタンプハンマー、プレス機などが並ぶ。切断および機械工場には帯鋸盤、切断機、NC旋盤などが設備されている。そして出荷検査工場には磁粉探傷機、超音波探傷機などが配置されており、設備の充実ぶりがうかがえる。そういった中で、現在は「多能工化」を推進中で、製造部門の平均年齢は32歳と若く、モチベーションも高い。職人技を持つ先輩社員によるOJTが中心だが、加熱による加工物の微妙な変化などを感覚的にとらえるように指導するなど総合力のレベルアップを狙うと同時に、固有技術の伝承にも力を入れている。

今後の展望

頼られる問題解決型企業を目指す

大手企業の海外生産が加速することに伴い、下請け企業の海外進出も顕著になる中で、同社は日本国内に留まり、メイドインジャパンのものづくりを貫く構え。スペックの高い製品や、難易度の高いものづくりにおいてはまだ日本国内にいても需要があるから、五十嵐宏明社長は「困った時は、草川に助けを求めたい」と抱負を語る。



八尾市にある本社・工場

COMPANY PROFILE

草川鉄工株式会社

大阪25

ISO 9001

当社の歴史

大正3年大阪市市岡元町にて創業し、クジラの捕鯨鋸を生産。大正10年工場拡張に伴い大阪市大正区に移転。昭和38年大阪府八尾市に移転する。昭和59年日本海事協会、昭和64年（平成元年）原子力向け製品の製造認定を取得。平成15年ISO9001取得。平成23年環境対応のリージェネ式バーナー炉を導入。

鍛造だけでなく後工程、各種検査、成績書の発行まで一貫通貫で対応できる生産体制。

取締役社長 五十嵐 宏明さん



■主な事業内容

型打鍛造品（自動車用、建設機械用、農業機械、一般産業機械用部品など）、自由鍛造品（船用、発電プラント用部品）など

■主な取引先（納入先）

重工メーカー、自動車部品メーカー、建設機械部品メーカー、船用部品メーカー、一般産業機械メーカーなど

住所 〒581-0092
八尾市老原
8-79

TEL / 072-922-7165
FAX / 072-922-7168

創業 / 大正3年5月
設立 / 昭和23年6月
資本金 / 1,250万円
従業員 / 35名

<http://www.kusakawa.net>